



平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション
コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 久宗 裕行

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	72,097	10.4	4,004	15.2	4,256	10.8	2,484	14.8
25年10月期第3四半期	65,303	—	3,476	—	3,842	—	2,163	—

(注) 包括利益 26年10月期第3四半期 2,505百万円 (12.9%) 25年10月期第3四半期 2,218百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第3四半期	120.03	—
25年10月期第3四半期	104.53	—

(注) 平成25年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年10月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年10月期第3四半期	39,768		24,076		60.5	
25年10月期	36,479		21,820		59.8	

(参考) 自己資本 26年10月期第3四半期 24,076百万円 25年10月期 21,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年10月期	—	0.00	—		
26年10月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,182	4.6	4,188	4.8	4,534	1.8	2,521	0.7	121.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期3Q	20,699,800 株	25年10月期	20,699,800 株
② 期末自己株式数	26年10月期3Q	120 株	25年10月期	120 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期3Q	20,699,680 株	25年10月期3Q	20,699,766 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年11月1日から平成26年7月31日）におけるわが国経済は、平成26年4－6月期のGDP成長率が消費税増税の反動から年率換算でマイナス6.8%となるなど、景気回復の動きは足踏み状態となりました。

外食産業におきましては、6月家計調査によりますと、消費支出が3ヶ月連続の実質減少となったことに加え、堅調に推移しておりました外食支出も16ヶ月ぶりの前年割れとなるなど不透明感を増しております。消費税の10%への引き上げ議論が本格化するなか、消費者の購買行動も不透明なうえ、デフレ脱却に伴うコストの上昇など、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、創業以来のコンセプトである「四大添加物（化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料）」を完全に排除した商品を提供しております。

うどんや茶碗蒸しに使うだしは、コストと手間をかけ基本に忠実に1日数回、店舗で昆布やカツオからとっております。上品でくせの無い、加工品では出すことのできない天然のだしを使用することにより、お子様にも安心な、自然でやさしい味わいと、多くのお客様にご好評をいただいております。

当社の行動指針である「見えないところを大切に」、「家族に食べさせたくないものは店舗で出さない」取組みを継続しております。

当第3四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

5月末には、昨年発売し大好評の「7種の魚介だれ『すしやのうな井』（税抜580円）」に加え、新たにうなぎを2枚のせた「すしやの特上うな井（税抜980円）」を販売いたしましたところ、予想を上回る販売数量となりました。また、7月には大手回転寿司チェーンとしては初めてとなる「国産とらふぐ（税抜200円）」を提供し、好評をいただきました。

販売促進面におきましては、6月に初夏には珍しい「極上かにフェア」を開催したのに合わせ、人気アニメ「妖怪ウォッチ」グッズがビックラポンで当たるキャンペーンを開催致しました。景品において、入手困難と言われる「DX妖怪ウォッチ」や「妖怪メダル」をご用意し大好評をいただきました。7月には「極上本まぐろフェア」に合わせ、引き続き「妖怪ウォッチ」のキャンペーンを開催し、景品とは別にご来店いただいたお客様先着50万名様に「妖怪ウォッチオリジナルポストカード」プレゼント企画や、お客様が店頭で楽しめるように「くら寿司でDS」を活用した「くら寿司で発見！妖怪マップ」の配信も6月より実施致いたしました。

このような諸施策を行いました効果もあり、5月以降も既存店売上高につきましては前年同月比プラスで推移いたしました。

店舗開発につきましては、西日本地区で4店舗、東日本地区で2店舗の計6店舗を新規出店した結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で344店舗（「無添蔵」4店舗、米国会社「Kula Sushi USA, Inc.」7店舗を含む）となりました。

既存店投資につきましては、店舗照明のLED化、新型オーダーベルトの設置やタッチパネルの高機能化を引き続き推進し、厨房設備につきましても順次最新型の省エネ機器を積極的に導入してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は720億97百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益40億4百万円（同15.2%増）、経常利益42億56百万円（同10.8%増）、四半期純利益は24億84百万円（同14.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は397億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億89百万円の増加となりました。これは、主に減価償却費等により有形固定資産が4億67百万円減少した一方で、現金及び預金が34億72百万円、投資その他の資産のその他が2億41百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して10億32百万円増加し、156億91百万円となりました。これは、主にリース債務が5億47百万円減少した一方で、買掛金が8億49百万円、未払金が4億44百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が22億36百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して22億56百万円増加し、240億76百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期通期連結業績予想につきましては、平成25年12月12日に公表いたしました内容から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課せられないことになりました。これに伴い、平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産を計算する法定実効税率が38.01%から35.64%に変更となります。

なお、当該変更が繰延税金資産及び法人税等調整額に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,846,862	9,319,122
原材料及び貯蔵品	466,822	559,639
その他	820,983	957,356
流動資産合計	7,134,667	10,836,119
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,916,606	11,602,368
その他(純額)	7,712,779	7,559,941
有形固定資産合計	19,629,385	19,162,310
無形固定資産		
投資その他の資産	1,258,035	997,219
長期貸付金	3,400,171	3,393,030
差入保証金	3,707,034	3,788,923
その他	1,349,734	1,590,763
投資その他の資産合計	8,456,940	8,772,716
固定資産合計	29,344,361	28,932,246
資産合計	36,479,029	39,768,365
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,217,875	4,067,365
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	3,021,777	3,466,663
未払法人税等	1,014,630	856,228
その他	2,232,522	2,818,589
流動負債合計	9,686,806	11,408,846
固定負債		
長期借入金	400,000	250,000
リース債務	3,135,242	2,587,767
資産除去債務	1,153,668	1,190,768
その他	283,136	254,170
固定負債合計	4,972,048	4,282,706
負債合計	14,658,854	15,691,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	17,440,725	19,676,960
自己株式	△185	△185
株主資本合計	21,780,253	24,016,488
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	39,921	60,323
その他の包括利益累計額合計	39,921	60,323
純資産合計	21,820,174	24,076,812
負債純資産合計	36,479,029	39,768,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	65,303,007	72,097,938
売上原価	29,481,798	32,878,090
売上総利益	35,821,209	39,219,847
販売費及び一般管理費	32,345,163	35,215,092
営業利益	3,476,045	4,004,754
営業外収益		
受取利息	48,725	48,292
受取手数料	182,902	194,554
為替差益	131,244	13,904
物販収入	174,387	94,146
雑収入	17,620	27,198
営業外収益合計	554,882	378,097
営業外費用		
支払利息	57,161	53,692
物販原価	115,791	50,400
雑損失	15,635	22,426
営業外費用合計	188,588	126,519
経常利益	3,842,338	4,256,332
特別利益		
固定資産売却益	—	1,157
特別利益合計	—	1,157
特別損失		
固定資産除却損	14,128	13,363
店舗閉鎖損失	67,001	26,078
減損損失	58,219	31,381
特別損失合計	139,349	70,823
税金等調整前四半期純利益	3,702,988	4,186,666
法人税、住民税及び事業税	1,530,070	1,677,081
法人税等調整額	9,235	24,954
法人税等合計	1,539,306	1,702,035
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163,682	2,484,631
四半期純利益	2,163,682	2,484,631

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163,682	2,484,631
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	55,256	20,401
その他の包括利益合計	55,256	20,401
四半期包括利益	2,218,938	2,505,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,218,938	2,505,033
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

平成26年8月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定及び当社定款の定めに基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議いたしました。

1. 自己株式の取得及び自己株式の公開買付けの目的

当社の筆頭株主である株式会社ウォルナットコーポレーションより、その保有する当社普通株式の一部を売却する意向がある旨の連絡を受けたため、当該売却により一時的にまとまった数量の株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場価格に与える影響並びに当社の財務状況等を総合的に鑑み、当該株式を自己株式として取得することを検討いたしました。

その結果、当該自己株式の取得が当社の資本効率の向上及び株主の皆様に対する利益還元に繋がると判断いたしました。

また、自己株式の具体的な取得方法については、株主間の平等性、取引の透明性の観点から、公開買付けの手法が適切であると判断いたしました。

2. 自己株式取得に関する取締役会決議の内容

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	1,000,100株（上限）
株式の取得価額の総額	2,460,246千円（上限）
取得する期間	平成26年9月1日から平成26年10月31日まで

3. 公開買付けの内容

買付け等を行う上場株券等に係る株式の種類	当社普通株式
買付け等の期間	平成26年9月1日から平成26年9月30日まで（20営業日）
買付け等の価格	1株につき 金2,460円
買付け予定の上場株券等の数	1,000,000株
決済の開始日	平成26年10月27日